

第三回大東亞戦争を
考える講演会

藤岡信勝(新しい歴史教科書をつくる会副会長)
日本人が虐殺された
「通州事件」から85年



池田悠(国際歴史論戦研究所研究員)
大東亞戦争序章としての
南京事件の真実



日時 令和4年(2022年)7月30日(土) 午後1時30分開場 午後2時開演

会場 文京区民センター3階A会議室(東京都文京区本郷4-15-14)

東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」5分 都営「春日駅」1分

会費 1,000円 予約必要ありません

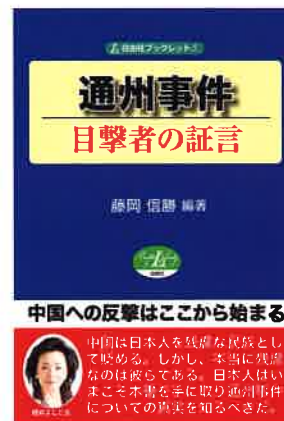
藤岡信勝

「通州事件」は盧溝橋事件に始まる戦争挑発行動の頂点

- 通州事件は2年前から計画されていた
 - 「誤爆説」はどのように成立し崩壊したか
 - シナ人の精神構造と残虐文化の位置づけ
 - 通州事件と南京事件をどう関連づけるか
 - 通州事件から現代日本人は何を学ぶべきか
- 著書「通州事件―目撃者の証言」(自由社)
共著「新聞が伝えた通州事件」(集広舎)

経歴

昭和18年生まれ。北海道大学博士単位取得。
東京大学教育学部教授。拓殖大学教授。
新しい歴史教科書をつくる会副会長。
通州事件アーカイブズ設立基金代表



池田悠(はるか)

南京事件の真実を欧米の第1次史料を基に明らかにする!

南京事件の発信源はアメリカ宣教師団である。
彼らは非公認の安全区を中国軍支援のために設立した。
蒋介石はプロテスタントであり、宣教師たちは布教のために
蒋介石の建国活動を支援し、反日活動を行った。
日米開戦に向けて、南京事件が果たした役割を考える
著書「一次史料が明かす南京事件の真実」(展転社)

経歴

昭和54年生まれ。東京大学経済学部卒
通信技術系ベンチャー企業役員、
衆議院議員秘書等を経て独立
マネジメントコンサルタント・ジャーナリスト
国際歴史論戦研究所研究員



主催 小島孝之(アジア民主化運動代表) 連絡先 03-5840-6460 kasiademo@fij.tokyo

賛同者(50音順) 荒岩宏奨(展転社代表取締役) 荒木和博(拓殖大学海外事情研究所教授) 小野寺彰(文京区の学校教育を考える会会長)
込山久夫(新しい歴史教科書をつくる会東京支部長) 小林秀英(チベット問題を考える会代表) 齊藤文彦(東京郷友連盟)
佐藤和夫(英霊の名譽を守り顕彰する会代表) 鈴木信行(前葛飾区議会議員) 村田春樹(今さら聞けない皇室研究会顧問)
茂木弘道(史実を世界に発信する会代表)